

令和4年度

# 事業報告書

自：令和04年4月1日

至：令和05年3月31日

公益財団法人 日本食品化学研究振興財団

# 目 次

I	事業概要	1
II	事業の実施状況	1
	1 助成事業（公1事業）	1
	（1）研究助成事業	1
	（2）シンポジウム開催等助成事業	2
	（3）奨学助成事業	2
	2 情報提供事業（公3事業）	3
	（1）ホームページによる情報提供	3
	（2）研究成果報告書の発刊	3
	3 調査研究事業（公2事業）	3
	（1）受託事業	3
III	管理運営業務	3
	1 会議の開催	3
	2 内閣府公益認定等委員会立入検査	3
	3 令和4年度主要業務	3
IV	組 織	4
V	附属明細書	4
(資料)		
	別紙1 平成4年度（第29回）研究助成金交付対象者	… 5
	別紙2 令和5年度（第30回）研究助成金交付対象者	… 6
	別紙3 平成4年度シンポジウム開催等助成金交付対象者	… 7
	別紙4 令和5年度シンポジウム開催等助成金交付対象者	… 8
	別紙5 日本食品化学研究振興財団ホームページ 主なコンテンツ	… 9
	別紙6 令和4年度主要事業記録	… 10
	別紙7 組織	… 11

# 令和4年度 事業報告書

## I 事業概要

- ・ 令和4年度の助成事業については、令和3年度に引き続き公益目的事業である食品化学に関する研究・シンポジウム開催等に対する助成事業を進めるとともに、海外から日本への留学に係る奨学助成事業を実施した。
- ・ 情報提供事業については、食品添加物や残留農薬等食品化学に関する情報の収集とホームページ上での提供を令和3年度に引き続き実施した。
- ・ 調査研究事業については、令和4年度は内閣府食品安全委員会の「食品添加物の海外の評価結果等に関する情報収集及び調査」を受託した。
- ・ 令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の感染状況も鑑み、理事会の書面開催、ウェブ会議システムの活用及び助成金贈呈式の中止等の所要の対応をとりつつ事業を実施した。

## II 事業の実施状況

### 1 助成事業（公1事業）

#### (1) 研究助成事業

##### 1) 令和4年度研究助成

- ・ 令和4年3月に開催された選考委員会において選考し、同月開催の理事会にて決定した助成金交付対象15件に対して、同年5月、研究助成金（総額750万円）を交付した。

（交付対象者及び助成額は「別紙1」のとおり）

##### 2) 令和5年度研究助成選考

###### ① 募集公告

- ・ 令和4年9月、本財団の助成対象の研究分野に関連のある学会誌（日本食品化学学会誌等7誌）及び関係学会（日本食品化学学会他10学会等）のホームページに当該募集公告の掲載を依頼するとともに、令和4年10月に財団ホームページにおいて募集公告を掲載し、助成対象者の公募を行った。

###### ② 研究課題

- ・ 令和4年度に引き続き、一般研究と課題研究（予め本財団が研究分野を定め、その分野内で申請者が課題を定めて行う研究）に分けて助成申請の募集を行った。

###### ③ 申請受付

- ・ 令和4年11月15日～令和5年1月16日の2か月間、助成申請を募集し、36件（一般研究16件、課題研究20件）の申請を受理した。

###### ④ 選考委員会審査

- ・ 令和5年3月3日開催の第31回選考委員会において審査を行い、一般研究7件、課題研究7件の助成金交付対象者を選考した。

⑤ 理事会決定

- ・令和5年3月9日開催の第57回定時理事会において、選考委員会の選考結果に基づき審議を行い、14件（総額1,500万円）の研究助成金交付を決定した。

（交付対象者及び助成額は「別紙2」のとおり）

(2) シンポジウム開催等助成事業

1) 令和4年度前期（令和4年4月～令和4年9月）

- ・令和4年度研究助成と並行して、令和4年度前期シンポジウム助成の公募、選考、助成決定を行い、令和4年4月、3件に助成金（総額100万円）を交付した。

（交付対象者及び助成額は「別紙3」のとおり）

2) 令和4年度後期（令和4年10月～令和5年3月）

- ・令和4年度後期におけるシンポジウム開催等の助成対象者を募集するため、専門学会誌及び関係団体ホームページ並びに本財団ホームページに募集公告を掲載した。
- ・令和4年7月1日～7月31日の間募集を行い、令和4年8月30日開催の第29回選考委員会で選考を行い、9月16日開催の第55回臨時理事会で助成対象者を決定し、同年10月、3件に助成金（総額105万円）を交付した。

（交付対象者及び助成額は「別紙3」のとおり）

3) 令和5年度前期（令和5年4月～9月）

- ・令和5年度研究助成と並行して、令和5年度前期シンポジウム助成の募集公告、募集、助成対象の選考、助成決定を行い、2件（105万円）の助成を決定した。

（交付対象者及び助成額は「別紙4」のとおり）

(3) 奨学助成事業

1) 令和4年度

- ・海外から日本への留学生1名から申請があった。令和3年12月3日に開催された第27回選考委員会でこの1名を選考し、12月17日開催の第51回臨時理事会でこの1名について助成（80万円）を決定した。なお、2月に辞退の申し出があり受理した。

2) 令和5年度

- ・令和4年9月15日～10月31日の間、本財団ホームページに募集公告を掲載するとともに、関係学会等ホームページに募集公告掲載を依頼することにより公募を行った。その結果、海外から日本への留学生1名から申請があった。選考委員等によるウェブでの面接を行ったうえ、12月5日に開催された第30回選考委員会でこの1名を選考し、12月16日開催の第56回臨時理事会において同人への助成（80万円）を決定した。

## 2 情報提供事業（公3事業）

### (1) ホームページによる情報提供 (<https://www.ffcr.or.jp/>)

- ・令和4年度に行われた、食品添加物の指定（2品目）、使用基準改正（1品目）、農薬等の食品中残留基準値の改正（農薬等56品目）などの最新の行政施策をホームページに反映させるとともに、情報提供を一層充実させるため、セキュリティ対策も含めたホームページの改修、掲載内容の更新を継続して実施した。
- ・ホームページへの内容等に関する利用者からのメールでの照会（208件）に対応した。
- ・ホームページの掲載情報の概要は「別紙5」のとおりである。

### (2) 研究成果報告書の発刊

- ・令和3年度の研究助成対象者から提出された研究報告書を取りまとめた「日本食品化学研究振興財団第28回（令和3年度）研究成果報告書」を令和4年12月26日発行し、当該研究者をはじめ、厚生労働省、国立医薬品食品衛生研究所、国立国会図書館、各都道府県衛生研究所、関係団体等へ配付した。

## 3 調査研究事業（公2事業）

### (1) 受託事業

- ・令和4年8月15日内閣府食品安全委員会が入札公告を行った令和4年度委託調査事業「食品添加物の海外の評価結果等に関する情報収集及び調査」に応札。総合評価落札方式（技術提案も評価対象）により受託し、10月12日に契約を締結。甘味料など食品添加物5品目について、最近15年間の海外リスク評価機関での評価状況、安全性に関する学術論文の収集・整理等の事業を実施した。

## III 管理運営業務

### 1 会議の開催

- ・理事会 5回（定時理事会2回、臨時理事会3回）
- ・評議員会 1回（定時評議員会1回）
- ・選考委員会 3回

### 2 令和5年2月2日の内閣府公益認定等委員会による当財団への立入検査に対応した。

### 3 令和4年度主要事業

令和4年度の主要事業については、「別紙6 令和4年度主要事業記録」のとおりである。

#### IV 組 織

- ・令和4年4月21日理事会で理事長が交代した。
- ・令和4年4月21日理事会で選考委員2名の退任、新たに2名の就任が了承された。
- ・令和4年5月12日評議員会で評議員1名が退任し、新たに1名が選任された。
- ・令和4年7月12日理事会で選考委員1名の退任、新たに1名の就任が了承された。
- ・令和4年度末における本財団の組織については、「別紙7」のとおりである。

#### V 附属明細書

- ・「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書については、記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。

(以上)

## 令和4年度(第29回) 研究助成金交付対象者

## 1:一般研究

番号	交付対象者(敬称略)	研 究 課 題	助成額 (万円)
1	星薬科大学 薬学部 亀山 浩	食品中の残留高極性農薬の半自動同時分析法の開発に関する研究	50
2	国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部 増本 直子	モノテルペンの精確な定量を指向したGC/FIDにおける相対モル感度を用いた定量法の開発	50
3	滋賀医科大学 生化学・分子生物学講座 近藤 健太	ビタミンCがCD8T細胞の病原体に対する免疫応答に及ぼす影響の解明	50
4	東北大学 多元物質科学研究所 鈴木 龍樹	食品色素としての利用を目指した天然青色色素の全合成およびその微粒子の基礎物性評価	50
5	国立医薬品食品衛生研究所 食品部 堤 智昭	固相マイクロ抽出法を用いた加工食品中のフラン及びその類縁体の分析法の開発	50
6	国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部 小島 肇	食品添加物の動物実験を用いない安全性評価のSystematic reviewに関する研究	50
7	東京大学大学院農学生命科学研究科 山内 祥生	ヒトiPS細胞由来骨格筋細胞を用いた食品添加物ビタミン類の筋萎縮抑制効果に関する研究	50
8	神戸学院大学 薬学部 小野寺 章	mTORC1による免疫細胞の機能制御におけるアスパルテームの影響	50
9	北海道大学大学院 農学研究院 小林 謙	泌乳期における非糖質甘味料の摂取が血液乳閉門に及ぼす影響	50

一般研究 9件 450万円

## 2:課題研究

## 2-1 食品添加物の体内動態および生体に対する影響に関する研究

10	神戸大学大学院 農学研究科 芦田 均	体内動態を考慮したミリシトリン含有ヤマモモシクロデキストリン包接体の生体調節機能について	50
11	岐阜薬科大学 生命薬学大講座 松丸 大輔	食品添加物グレード二酸化チタンE171の糖脂質代謝系における安全性評価	50
12	神戸女子大学大学院 家政学研究科 丸山 紗季	アルギン酸ナトリウムの慢性的経口摂取による血圧上昇抑制効果	50

## 2-2 食品添加物を利用した食品および食品素材の保存・安全性向上に関する研究

13	新潟大学 研究推進機構超域学術院 筒浦 さとみ	炭酸水素ナトリウムの添加と高圧処理の併用による微生物初期汚染の低減の検討	50
14	日本大学 薬学部 鈴木 直人	クルクミンと食品添加物からなる共結晶の製造工程における物理的安定性ならびに保存安定性	50

## 2-6 食品化学分野における代替タンパク質(Alternative Protein)の特性、機能、安全性等の研究

15	新潟工科大学 工学部 久保田 真敏	デンプン分解米胚乳タンパク質の可能性	50
----	-------------------------	--------------------	----

課題研究 6件 300万円

合 計 15件 750万円

## 令和5年度(第30回) 研究助成金交付対象者

## 1:一般研究

番号	交付対象者(敬称略)	研 究 課 題	助成額 (万円)
1	立命館大学 薬学部 坂口 裕子	線虫の多層化オミクス解析を用いた食品添加物の安全性評価	130
2	中部大学 応用生物学部 津田 孝範	食品添加物「乳酸」の新たな視点 ～乳酸の経口摂取、運動併用による認知機能低下予防作用の 解明～	80
3	星薬科大学 薬品分析化学研究室 樋山 浩	食品中の残留高極性農薬の半自動同時分析法の開発に 関する研究	140
4	和歌山県立医科大学 薬学部 長野 一也	適切な健康影響評価系の構築を目指した、経口曝露後の 銀ナノ粒子の存在様式変化を踏まえた体内動態解析	100
5	長崎大学 生命医科学域 松尾 洋介	pHによる紅茶の色調変化機構の解析	110
6	国立医薬品食品衛生研究所 食品部 堤 智昭	固相マイクロ抽出法を用いた加工食品中のフラン及びその 類縁体の分析法の開発	100
7	岐阜薬科大学 薬品分析化学研究室 高須 蒼生	天然由来糖類似甘味成分イミノ糖の新たな供給法としての 酵素処理法の研究	50

一般研究 7件 710万円

## 2:課題研究

## 2-1 食品添加物の体内動態および生体に対する影響に関する研究

8	山梨大学大学院 総合研究部 生命環境学域 石山 詩織	胚環境操作マウスおよび難消化性オリゴ糖を用いた食品添加 物の安全性・有効性の評価系構築	140
9	岡山県立大学 保健福祉学部 伊東 秀之	既存添加物収載タンニン(抽出物)の機能性代謝物の探索	120
10	東北大学大学院 薬学研究科 平田 祐介	食品香料成分フェネチルアミンの体内動態および新規効能 の解析	140
11	北海道大学大学院 薬学研究院 佐藤 夕紀	ヒアルロン酸オリゴ糖の簡易微量定量法の確立と体内動態 特性の解析	90
12	東京薬科大学 内分泌薬理学教室 吉江 幹浩	デュアルスプリットバイオセンサーを活用した胎盤形成に 不可欠な栄養膜細胞の分化・融合に対する食品添加物の 作用評価	100
13	神戸大学大学院 農学研究科 芦田 均	体内動態を考慮したミシトリン含有ヤマモシクロデキストリン 包接体の生体調節機能について	100
14	東京理科大学 薬学部 米野 雅大	ビタミン系酸化防止剤が脳血管糖衣に及ぼす影響と効果に 関する研究	100

課題研究 7件 790万円

合 計 14件 1500万円



## 令和4年度シンポジウム開催等助成金交付対象者

(前期)

番号	主催者及び申請者(敬称略)	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
1	日本栄養・食糧学会 神戸大学大学院農学研究科 教授 芦田 均	第76回日本栄養・食糧学会大会 「ポストコロナの未来を拓く栄養科学・食糧科学 のあり方」	30
2	日本食品化学学会 日本大学生物資源科学部 教授 松藤 寛	日本食品化学学会 第28回総会・学術大会	50
3	食品ハイドロコロイド研究会 東京海洋大学学術研究院 教授 松川 真吾	第33回食品ハイドロコロイドシンポジウム・ セミナー及び国際Mini-Sympo	20

合 計 100万円

(後期)

番号	主催者及び申請者(敬称略)	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
4	日本食品化学学会 麻布大学 生命・環境学部 教授 良永 裕子	日本食品化学学会 第38回食品化学シンポジ ウム 「レギュラトリーサイエンスと食品安全教育の現 状と今後」	40
5	公益社団法人 日本食品衛生学会 第118回学術講演会 実行委員長 荒川 修	(公社)日本食品衛生学会 第118回学術講演会	35
6	第22回国際栄養学会議組織委員会 日本学術会議、公益社団法人日本栄養・食 糧学会、特定非営利活動法人 日本栄養 改善学会(共同主催) 東京大学大学院農学研究科 特任教授 加藤 久典	第22回国際栄養学会議 22nd International Union of Nutritional Sciences(22nd IUNS-ICN)	30

小 計 105万円  
合 計 205万円

## 令和5年度シンポジウム開催等助成金交付対象者

(前期)

番号	主催者及び申請者(敬称略)	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
1	日本食品化学学会 富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 東田 千尋	日本食品化学学会 第29回総会・学術大会	80
2	(公社)日本食品衛生学会 実行委員長 秋葉 高司	2023年度日本食品衛生学会公開シンポジウム 「食中毒の季節にそなえる」	25

合 計 105万円

日本食品化学研究振興財団ホームページ (<https://www.ffcr.or.jp/>) 主なコンテンツ

## (1) 食品添加物 関係情報

### ①リスト類

指定添加物リスト[日・英]、既存添加物リスト[日・英]、天然香料基原物質リスト[日・英]、使用基準一覧[日・英]、指定添加物・既存添加物検索のための一覧表 等

### ②食品添加物の規格

第9版食品添加物公定書 及び 同追補[日・英] (厚労省、国立衛研へリンク)

### ③新食品添加物の指定

指定及び使用基準改正に関する指針[日・英]、指定等要請資料作成の手引き[日・英] 等

### ④食品添加物の安全性

JECFA による安全性評価、既存添加物の安全性評価[日・英]、食品添加物一日摂取量調査 等 (厚労省、国立衛研、JECFA へリンク)

### ⑤食品添加物の表示 (消費者庁へリンク)

## (2) 残留農薬 関係情報

### ①残留農薬ポジティブリスト制度

- ・ポジティブリスト制度について[日・英]
- ・食品に残留する農薬等の限度値一覧表 <食品名、農薬名から検索可能> [日・英]
- ・抗生物質・合成抗菌剤、除外物質一覧、分析試験法[日・英] 等

### ② 食品中の残留農薬検査結果、畜産食品の残留物質モニタリング検査結果

## (3) 容器・包装 関係情報

- ・食品用器具・容器包装のポジティブリスト制度関係資料

## (4) 研究助成成果報告

第5回 (平成11年度) 助成分以降の全ての助成課題の和文抄録

第8回 (平成14年度) 助成分以降の全ての助成課題の英文抄録

## (5) 厚生労働省食品化学情報

食品化学に関する主要行政通知を掲載 (昭和43年以降)

## (6) 食品安全委員会情報

食品添加物評価書一覧等 (食品安全委員会へリンク)

## 令和4年度主要事業記録

年月日	主要事業記録
令和4年4月21日	第53回定時理事会（於：三栄源エフ・エフ・アイ(株)本社）＜ウェブ出席あり＞ ・令和3年度事業報告及び決算報告の承認に関する件 ・代表理事の辞任及び選任に関する件 ・代表理事職務執行状況の報告、他
令和4年5月	第29回研究助成金贈呈式→中止
令和4年5月12日	第15回定時評議員会（於：三栄源エフ・エフ・アイ(株)本社）＜ウェブ出席あり＞ ・令和3年度事業報告及び決算報告の承認に関する件 ・評議員の選任に関する件
令和4年7月1日	令和4年度（後期）シンポジウム開催等助成申請の受付開始（7月31日まで）
令和4年7月12日	第54回臨時理事会（書面表決） ・選考委員の選任に関する件
令和4年8月30日	第29回選考委員会（書面表決） ・令和4年度（後期）シンポジウム開催等助成対象の選考に関する件
令和4年9月15日	令和4年度奨学助成申請の受付開始（10月31日まで）
令和4年9月16日	第55回臨時理事会（書面表決） ・令和4年度（後期）シンポジウム開催等助成金交付対象者の決定に関する件
令和4年11月15日	令和5年度研究助成及び前期シンポジウム開催等助成申請の受付開始（令和5年1月16日まで）
令和4年12月5日	第30回選考委員会（書面表決） ・令和5年度奨学助成金交付対象者の選考に関する件
令和4年12月16日	第56回臨時理事会（書面表決） ・令和5年度奨学助成金交付対象者に関する件
令和4年12月26日	研究成果報告書（第28回・令和3年度）刊行
令和5年2月2日	内閣府公益認定等委員会による立入検査
令和5年3月3日	第31回選考委員会（於：三栄源エフ・エフ・アイ(株)本社）＜ウェブ出席あり＞ ・令和5年度研究助成対象及び令和5年度（前期）シンポジウム開催等助成対象の選考に関する件、他
令和5年3月9日	第57回定時理事会（於：三栄源エフ・エフ・アイ(株)本社）＜ウェブ出席あり＞ ・令和5年度事業計画及び収支予算の承認に関する件 ・令和5年度役員報酬に関する件 ・令和5年度研究助成対象及び令和5年度（前期）シンポジウム開催助成対象の決定に関する件 ・代表理事職務執行状況の報告、他

## 組 織

令和5年3月31日現在

1 役員		
理事長	清水 康弘	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 代表取締役社長
専務理事	伏見 環	公益財団法人 日本食品化学研究振興財団
理事	安達 修二	京都先端科学大学 バイオ環境学部食農学科 特任教授
〃	神崎 浩	岡山大学学術研究院 環境生命科学学域(農学系) 教授
〃	小林 資正	大阪大学 名誉教授
〃	清水 孝重	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 代表取締役会長
〃	清水 玲子	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役
〃	下村 講一郎	東洋大学 名誉教授
〃	中垣 俊郎	一般財団法人 医薬品医療機器総合センターサイエンス財団 理事長
〃	鍋谷 浩志	東京家政大学 栄養学部栄養学科 教授
〃	伏木 亨	甲子園大学 副学長
監事	尾川 雅清	シリウス法律事務所 弁護士
〃	妙中 茂樹	妙中公認会計士事務所 公認会計士
2 評議員	井上 健夫	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 理事
〃	堤 康央	大阪大学大学院 薬学研究科 教授
〃	中江 大	帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 教授
〃	成田 昌稔	公益社団法人 東京医薬品工業協会 理事長
〃	松浦 壽喜	武庫川女子大学 食物栄養科学部 教授
〃	森本 隆司	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 検査部 部長
〃	山崎 裕康	(前) 神戸学院大学 薬学部 教授
3 選考委員	伊藤 美千穂	国立医薬品食品衛生研究所 生薬部 部長
〃	今井田 克己	香川大学 理事・副学長
〃	梅村 隆志	ヤマザキ動物看護大学大学院 動物看護学研究科 教授
〃	小関 良宏	東京農工大学 名誉教授
〃	合田 幸広	国立医薬品食品衛生研究所 所長
〃	近藤 恵美子	厚生労働省医薬・生活衛生局 食品基準審査課長
〃	高野 伊知郎	明治薬科大学 薬学部 教授
〃	谷 史人	京都大学大学院 農学研究科 教授
〃	堤 康央	大阪大学大学院 薬学研究科 教授
〃	船見 孝博	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役執行役員
4 事務局	長谷川 弘和	事務局長
〃	中村 明淑	
〃	旭 雅代	
同東京分室	鵜狩 真理子	